

経営比較分析表

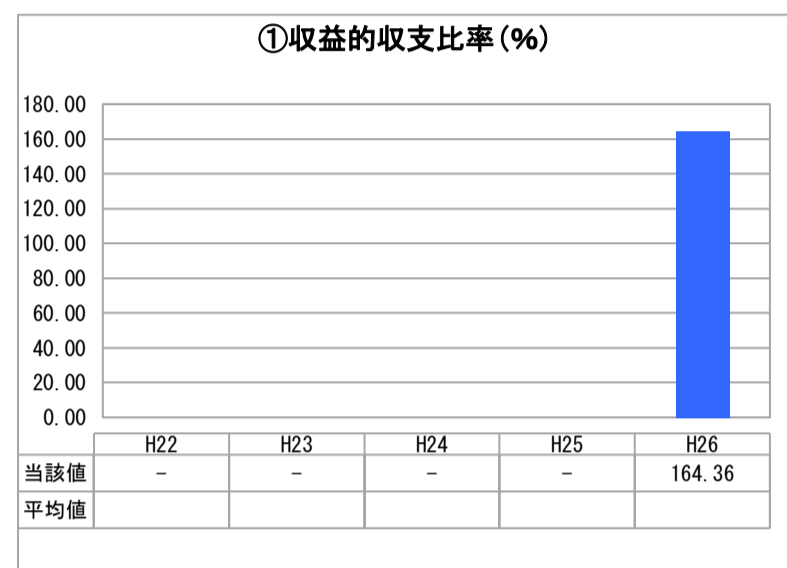
埼玉県 横瀬町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	0.23	100.00
			1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
			3,456

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,792	49.36	178.12
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
20	0.14	142.86

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	平成26年度全国平均

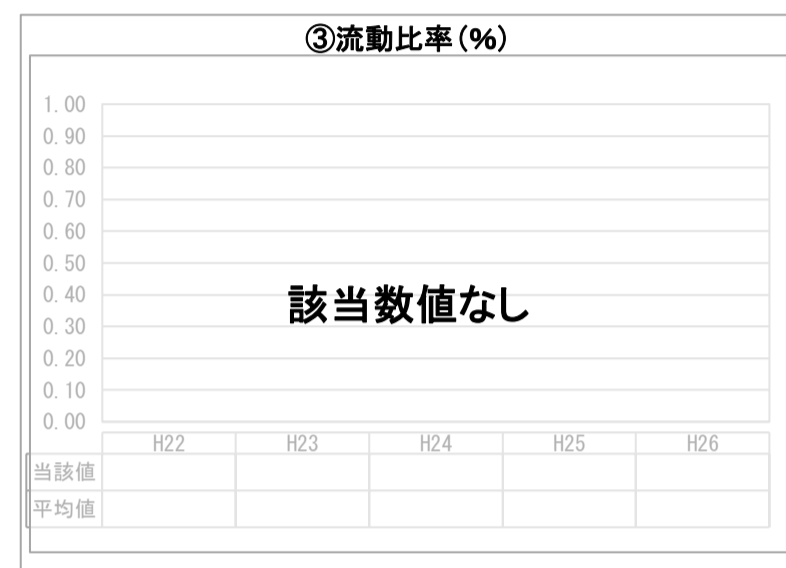
1. 経営の健全性・効率性



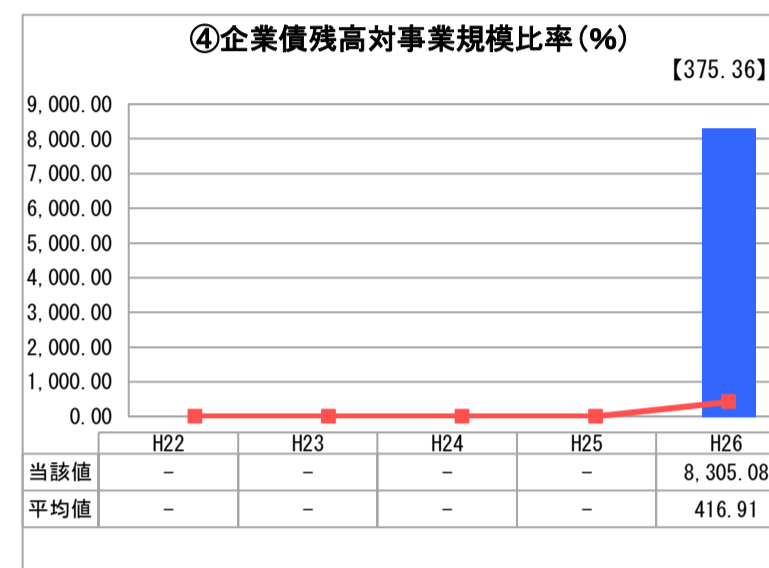
「単年度の収支」



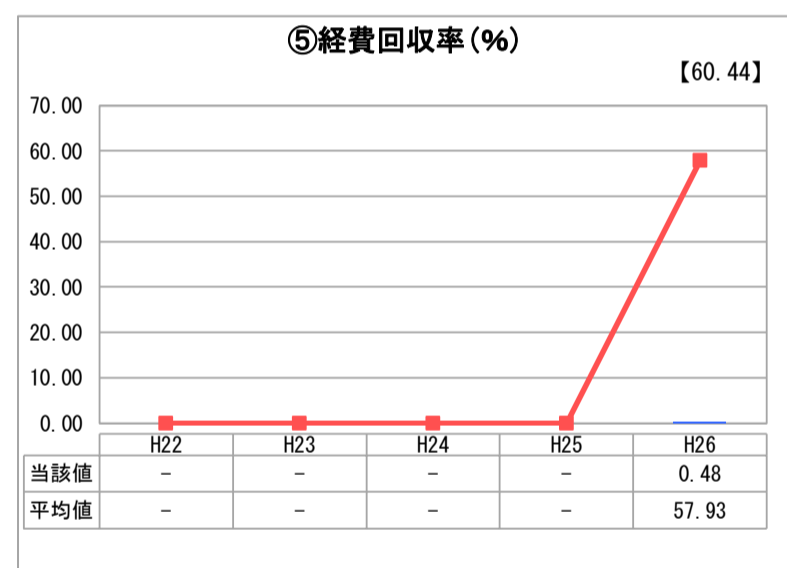
「累積欠損」



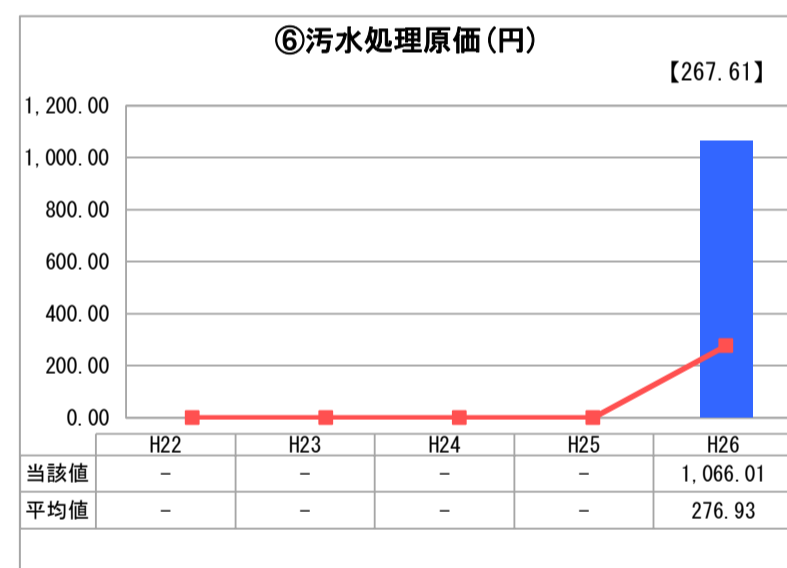
「支払能力」



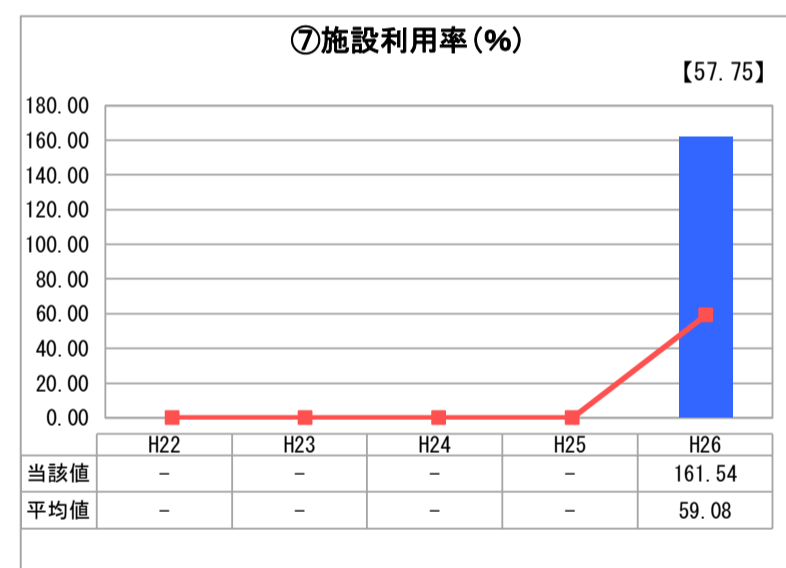
「債務残高」



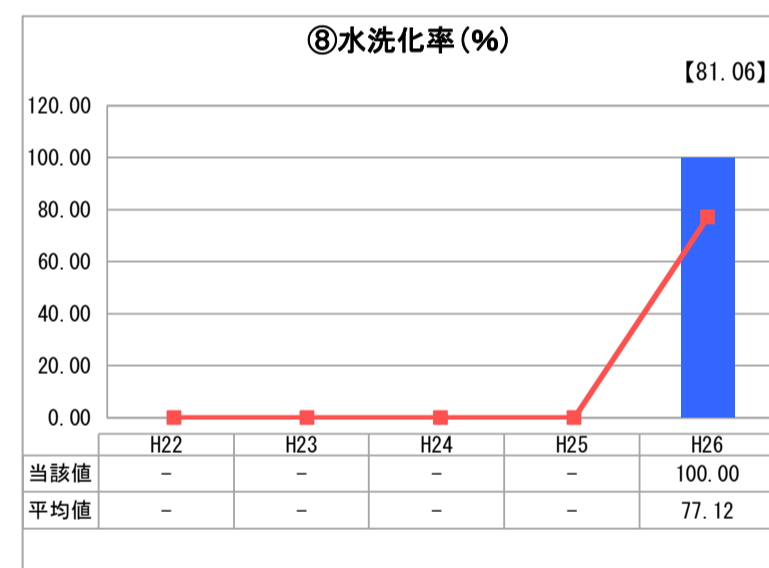
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

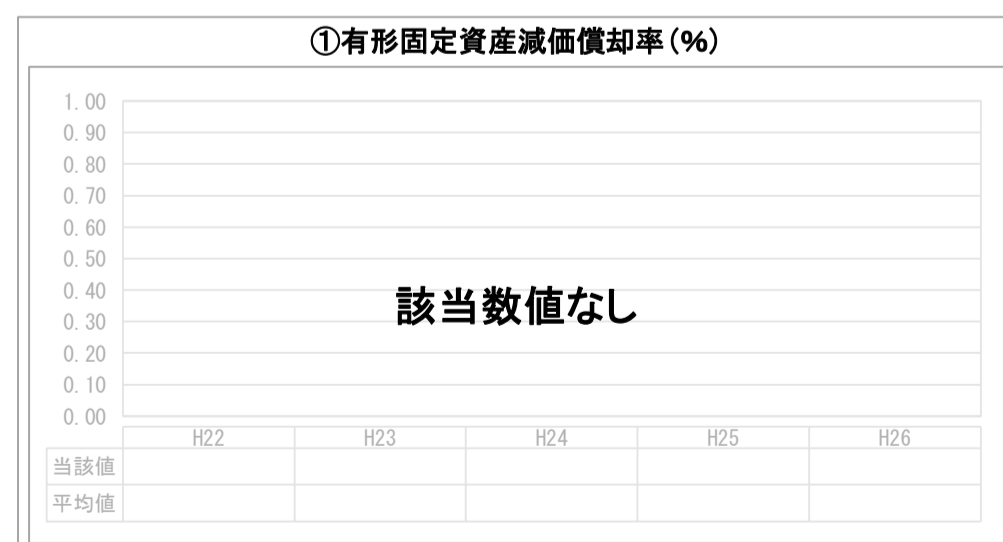


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

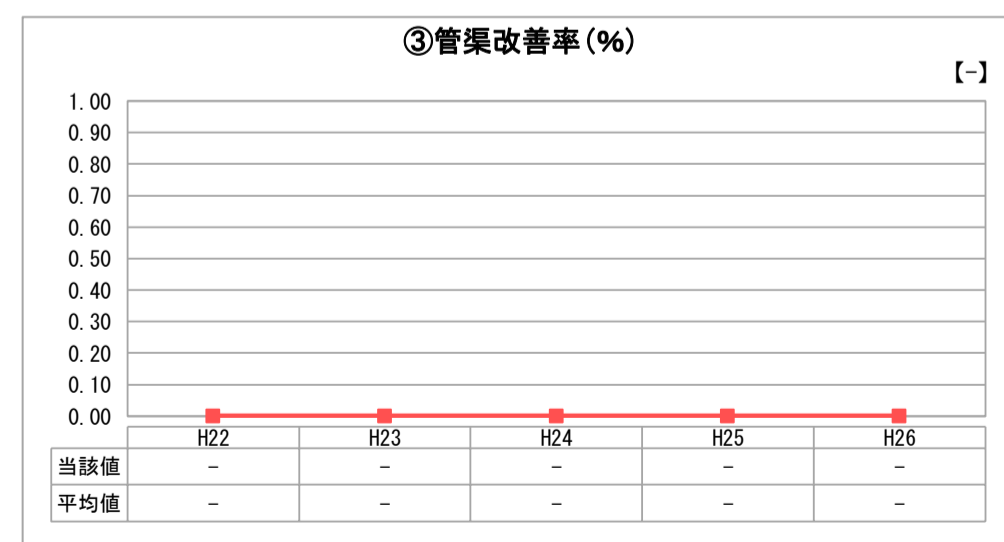
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

今回は、事業開始年度の数値であり、事業が年度途中から開始されたことや年度内の設置基数が極端に少なかった事から、類似する団体の数値とのかい離が見られます。事業が3年程度継続した段階で改めて分析することで今後の事業運営に生かしていくことができると思われます。

2. 老朽化の状況について

全体総括

今回は、事業の初年度であったこと、年度途中から事業が開始されたことや浄化槽の設置基数が極端に少なかったことから類似団体との数値にかい離が見られます。浄化槽は建物ごとに設置して個別で汚水処理を行うため効率よく処理することができます。また、当町の浄化槽使用料は、保守点検・清掃・法定検査受検料・修繕料が含まれている事が特徴です。加えて、料金体系が入槽に応じた定額制のため、安定した収入を得ることができます。現在は、収支のバランスがとれているため他会計からの繰入金は少なくなっています。今後の社会情勢の変化や財政状況に応じて使用料の改定を検討するなど安定した健全経営ができるよう運営してまいります。あわせて、浄化槽や制度の利点を周知しながら、住民の衛生的な生活環境や横瀬町の水環境を守るため、設置管理事業を推進してまいります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。